

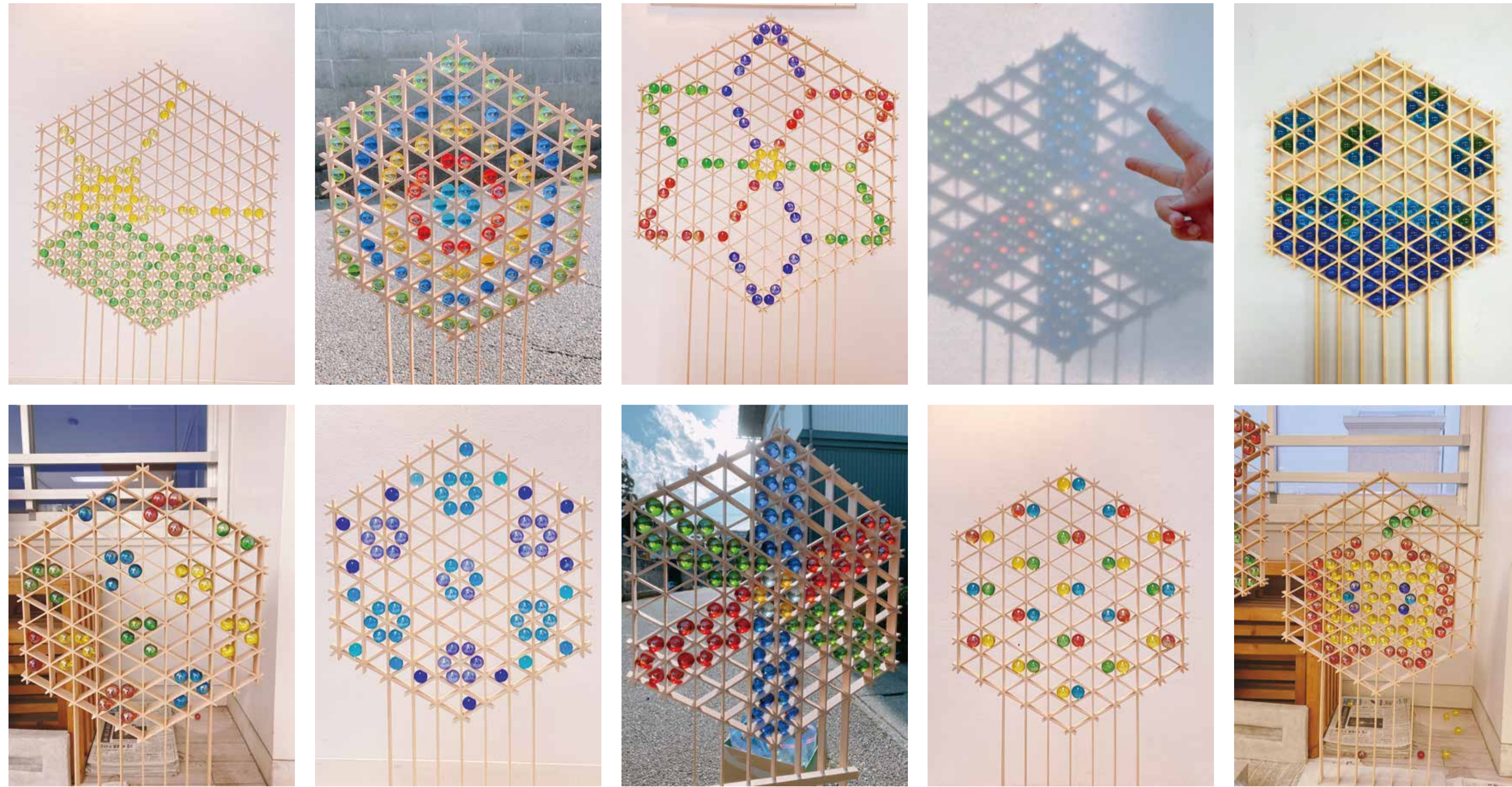
Kumiki

伝統の技とビー玉による光の演出

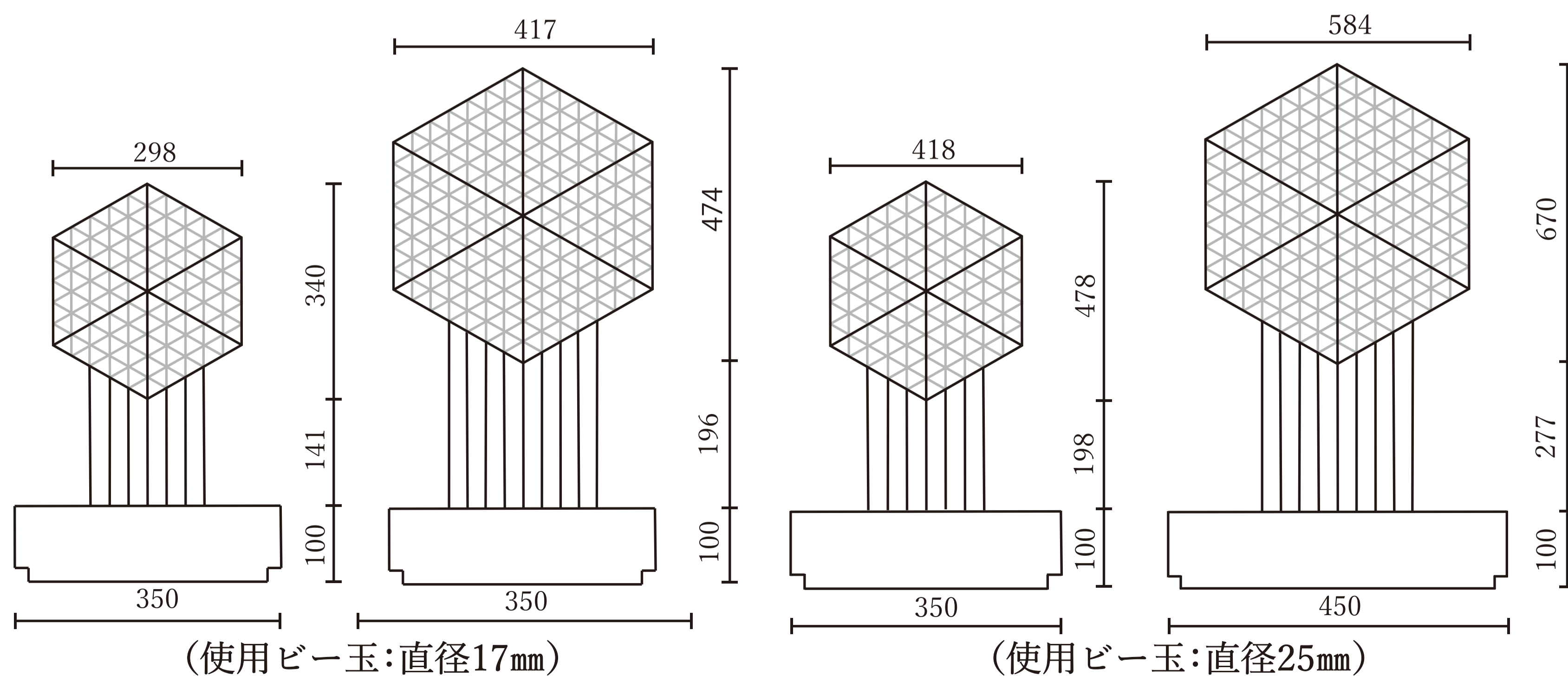
さりげなくそこにあってそれが素晴らしくみえる...

組子細工は家の中にあるだけで存在感を放ち、眺めるだけでも心が落ち着く。そんな伝統ある組子細工に注目した。多くの人に使ってもらえるように、新たな利用法を考えた。それが、ビー玉と掛け合わせることで”和風ステンドグラス”を感じさせる私の卒業制作「kumiki」の提案である。

■ ビー玉の配置例



■ 寸法



■ 制作目的

組子細工について調べているうちに、作り手が少なくなってきていること、高価なため手に入る機会が少ないことなどの問題点が見つかった。そこで、この作品を通して和の場面だけでなく洋の場面にも需要が出て、多くの人に興味を持ち普段の生活にさりげなく使ってもらえるよう、そんなきっかけ作りになることを目的とした。

■ 制作ポイント

- ・組子細工を大、小4種類作ることで、バリエーションの多様性に対応できる。
- ・床や壁に広がる陰影は効果的なインテリア演出を可能にする。
- ・ビー玉は接着していないため、自由に好きな模様を創り出せる。
- ・日本の伝統の技「組子」と「ビー玉」を掛け合わせることで、和風ステンドグラスの効果を気軽に室内に設置できる。

■ 卒業制作展の様子

